

授業科目

精神看護学概論

担当教員名 西川 薫、金谷 光子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

こころの病を持つ人々が歴史的背景の中でどのように扱われてきたのかを理解する。また、こころの病を持つ人の病期（急性期・慢性期・リハビリテーション期）の特徴と看護の在り方を学ぶ。その際にセルフケア理論に基づいて看護を考える。さらに、家族支援についても学ぶ。

授業の目的

こころの健康およびこころ病を持つ人への理解を深め、専門家として適切な援助の在り方を学ぶ。

学習目標

- こころの健康および予防について説明できる。
- こころの病を持つ人を取り巻く諸問題（歴史的・社会的・法律的・福祉的）について列挙できる。
- こころの病を持つ人の病期（急性期・慢性期・リハビリテーション期）の特徴と看護の在り方について説明できる。
- こころの病が日常生活に及ぼす影響と看護の在り方についてアンダーウッド理論を用いて説明できる。
- こころの病と家族の関係性について、家族支援の視点から説明できる。
- 精神看護の対象の広がりについてコンサルテーション・リエゾン看護の視点から説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	こころの病と看護	講義	西川 薫
2	精神医療の歴史	講義	西川 薫
3	精神医療の歴史（精神保健福祉法の骨子）	講義	西川 薫
4	精神看護学における理論：アンダーウッド理論	講義	金谷 光子
5	アンダーウッド理論における事例への適応	講義	西川 薫
6	精神看護学：急性期の捉え方と援助	講義	西川 薫
7	精神看護学：慢性期の捉え方と援助	講義	西川 薫
8	精神看護学：リハビリテーションの実際	講義	金谷 光子
9	精神障害のある人への治療と看護（薬物療法）	講義	金谷 光子
10	精神障害のある人への治療と看護（様々な療法）	講義	西川 薫
11	精神障害と家族	講義	西川 薫
12	不安と精神病理の関係性	講義	金谷 光子
13	薬物依存症と看護	講義	金谷 光子
14	司法精神看護学（司法に関わる精神看護）	講義	金谷 光子
15	リエゾン・コンサルテーション看護学	講義	金谷 光子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	精神看護の基礎 精神看護学〈1〉（系統看護学講座 専門分野）	武井麻子	医学書	2016年	2,200円＋税	1年次の精神発達保健論で購入したテキストを使用する
	精神看護の展開 精神看護学〈2〉（系統看護学講座 専門分野）	武井麻子	医学書	2016年	2,200円＋税	1年次の精神発達保健論で購入したテキストを使用する
参考書	精神看護学ノート 第2	武井麻子	医学書	2005年	2,000円＋税	

その他の資料						
--------	--	--	--	--	--	--

評価方法

各授業において記入したリフレクションシート：20%程度
試験：80%程度

履修上の留意点

授業中の積極的発言を望む

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：木曜日の午前
連絡先：nisikawa@nuhw.ac.jp K402研究室